学校番号	４１３

平成 31 年度　芸術科

教科	芸術	科目	書道Ⅱ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	書道Ⅱ（光村出版）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

1 年次の書道を更に発展させ、より幅広く多様な表現を追及し、すてきな自分の作品を制作してゆきます。

2　学習の到達目標

書道をすることで、生涯　書を愛好する心を育て、書写能力の向上をはかり、より豊かな表現ができるよう技術を身につけ書道の理解を深めてゆく。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:書への関心・意欲・態度	b:書表現の構想と工夫	c:創造的な書表現の技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	書の創造活動の喜びを味わい、書の伝統と文化に関心をもって、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。	書のよさや美しさを感じ取り、感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。	創造的な書表現をするために、　基礎的な能力を生かし、効果的な表現の技能を身に付け表している。	日常生活の書の効用や書の伝統と文化について幅広く理解し、その価値を考え、書のよさや美しさを創造的に味わっている。
評価方法	観察 レポート 提出作品	観察 レポート 提出作品	観察 レポート 提出作品	観察 レポート 提出作品

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	題材名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	篆書を知る	最も古い字体を臨書学習する		○		○	a:歴史の深さを理解する b:特別な筆使いを知り表現している c:技術を学ぶ d:篆書を理解する	・作品提出 ・観察
	隷書を知る	中国漢時代の隷書を臨書学習する		○		○	a:行書体の基本的な用筆を理解し、工夫している。 b:行書の特徴を理解して表現している。 c:行書のやわらかさを表現する d:歴史的意味を理解する。	・作品提出 ・観察 ・レポート
2学期	篆刻	2 年は姓と名の二顆をより表現豊かに篆刻する			○	○	a:緻密な美しさを考える b:小さい世界へきっちり印字する c:こまかい刻り方を理解する d:紅・白印がある事を理解する	・印影提出 ・観察 ・レポート
	うちわ・絵手紙	身近な素材へよりすてきな表現をする (漢字仮名交じり)	○			○	a:何でも書の材料となることを理解する b:美を工夫して試みる c:調和する表現をする d:わかりやすい表現をする	・展示して鑑賞する ・レポート
3学期	仮名作品	主として和歌を料紙へ表現する		○	○		a:日本の書道の歴史を知る b:仮名の美しい線を学ぶ c:デリケートな表現をする d:仮名表現を理解する	・作品提出 ・観察 ・レポート

※　表中の観点について　a:書への関心・意欲・態度　　b:書表現の構想と工夫
c:創造的な書表現の技能　　d:鑑賞の能力

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。